

# この学校にわたしたち

2023. 10. 27

N040

## 人を笑顔にする おもいやり算

毎日、教室をまわっているとこの学校にも、どこの学年にも算数の問題に苦戦している児童を見かけます。そんな子どもにとっては心が重くなるかもしれない算数ですが、人を笑顔にするおもいやり算という言葉が聞かれたことがあるでしょうか？少し古い話ですが、あるCMで放送されていました。10年ほど前の「社会を明るくする作文」コンクールではこの思いやり算のことを書いた作文が全国の優秀賞になっていました。

【おもいやり算】 たす(+)…“たすけあう ひく(-)…“ひきうけること  
かける(×)…“声をかける わる(÷)…“いたわる

文字通り、「+」は、助け合うことです。1人より2人、2人より3人…と力を合わせることでより大きな力を発揮することができます。「-」は誰かが困っている時、少しでもその抱えていることを引き受けてあげることです。そのことで心がとても軽くなります。「×」は優しい声をかけることです。友だちからかけられる言葉は気持ちを温かくしてくれます。「÷」は、いたわるです。いたわることで相手の気持ちが和みます。現代の世の中は不安とあせりの中で大人も子どもも生きているような気がします。ちょっとしたことがきっかけとなり、人と人の間に溝ができてしまいます。子どもは大人の行動や姿から、人を思いやる気持ちを学びます。私たちが、家族を含め周りの人を思いやり、敬う気持ちを持って行動すれば、本当の意味での思いやりの心を学びます。それは、毎日のちょっとした仕草に表れるものです。子どもは自然にそれを学び、人を思いやり、その人の気持ちを尊重します。人に対する思いやりの心は、わたしたちが生きている限りずっと学ぶべきものです。そして行動に移すべきことです。子どもは、そんな大人の姿から、人を思いやることは終生学びつづけることなのだと知っていくのではないのでしょうか。

学校ではこの「思いやり算」の心で、相手の立場に立ち、考えて行動できる子どもたちを育てていきたいと思えます。“違い”をどちらが上か下かを常に考える生き方ではなく、これからいろいろな人に出会って、生きていく子どもたちが違いを正しく知り、受け入れ、ともに行動していけるそんな大人になってほしいと思えます。日々の生活の中でこの“人を笑顔にする思いやり算”大人も子どもも意識して生活していきたいと思えます。



6日(月)委員会

8日(水)3年校外学習

11日(土)リサイクル資源回収

17日(金)読み聞かせ(1年)

22日(水)1・2年校外学習

25日(土)にこキラ集会

学校運営協議会

28日(火)5・6年建築家の授業

30日(木)学校保健委員会16:00